

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : ワシントン大学

留学期間 : 平成 27 年 3 月 15 日 ~ 平成 28 年 4 月 7 日

「IT×コーヒーの街 アメリカで最も成長するシアトルから学ぶ都市経済学」

留学計画の概要

ワシントン大学で 1 2 か月間滞在。語学学習だけでなく、ビジネス・マーケティングの専門分野を 9 か月間学び、残りの 3 か月を実践活動としインターンシップを行う。

留学目的

日本では、少子化・高齢化・空き家問題など、他国に比べ多くの課題を抱え、それらに対する取り組みが世界から注目をあびています。今後の街づくりを考えるうえで、これらの課題解決は重要なものであり、また、日本と同じ課題を抱える中国や韓国も、日本に視察へ訪れています。しかし、多くの取り組みが行政からの補助金で取り組まれており、持続性や継続性があるとは必ずしも言えません。

そこで、私の留学の目的は、NPO やボランティアが盛んであるアメリカ合衆国で経営学やマーケティングを学び、また、アメリカで最も成長する街、シアトルの街の生態系を研究し、日本の街づくりに生かしたいと考えました。

実践活動の内容・期待できた成果

アメリカ合衆国 ワシントン州 シアトル市は多くの企業が集まり、イノベーションが生まれている街です。Starbucks / Microsoft / Amazon / Boeing / Costco など誰もが聞いたことのある企業ばかりでなく、世界最大の慈善基金団体「ビル&メリンダ・ゲイツ財団」などの NPO や NGO も存在する活発な街です。また、「エメラルドシティー」と呼ばれ、自然豊かで全米で常に住みやすい街としても選ばれています。なぜ、シアトルがこんなにも産業が活発であり、人々に愛されるのか？実際にシアトルで住むとともにインターンシップで働き、その理由を探りました。

今回の留学の目標は 3 つありました。1 つ目は、中途半端な語学力ではなくネイティブスピーカーと対等に会話や交渉ができるような英語力を得ること。2 つ目は、たくさんのビジネスが生まれるシアトルでビジネススキルを学ぶこと。3 つ目は、全米で住みやすい街 NO 1 のシアトルの街の魅力を探ることです。

1 つ目の目標は、9 か月間のビジネス英語の集中講義で、企業論・戦略・マーケティング・会計などを受講し、ビジネス英語を学ぶことができました。日本の授業と異なりアメリカの授業は、レポートだけでなくプレゼンテーションも多いです。教科書を読むことで、単語や文法をインプットして英語力をつけ、その後プレゼン

ンで自分の意見を話すことによりアウトプットもできるようになりました。

2つ目の目標は、シアトルで実際に学生団体を代表として立ち上げ、戦略的なビジネス思考を身につけることができました。「1人1人がさらなる自己成長を図るために、SEAは充実した留学をするきっかけとなる」を団体のVisionに掲げ、Microsoftマーケティング部門の方から指導を受け、Vision達成のための活動を考えました。実践的に、SWOT分析、プロモーション戦略、KGI・KPIの目標設定、AIDMAの法則などのフレームワークを学び、それを自分たちの活動に落とし込んで活動を取り組みました。

3つ目の目標は、アメリカの大手不動産会社 Coldwell Banker Bain でのインターンシップを通し、アメリカの土地に関する知識や住宅の事情、そしてシアトルの不動産事情を学ぶことで、人がなぜシアトルを好み住むのかを理解することができました。私は、希望していたマーケティング部に配属され、マーケティングマネージャーのアシスタントを任されました。シアトルはエリアマネージメントがとても上手な街です。エリアごとに、住みたいと思う人のセグメント分けがされており、そのエリアごとにレストラン、ショッピング、教育、天候など数々の要素を数値化し自分のライフスタイルに合わせ住む街を決めることができます。そのデータをもとに、その街にはどんな人にとって魅力的かをターゲティングし、そのターゲット用に広告を作るサポートをしていました。

このインターンシップを通し、日本と全く異なるアメリカの不動産の考えを理解できたこと。そして、経済が成長し雇用が急速に生まれるシアトルの魅力は、仕事だけでなくスポーツ観戦をしたり、バーへいたり、ロウクライミングやハイキングをしたり、どう幸せに過ごせるかが重要だということを知ることができました。

「Quality of life」これはシアトルに住み、よく聞いた言葉です。日本では、生活の中心に仕事や勉強がありその中で住居の選択があるように感じます。しかし、シアトルでは、仕事や住居はその時の年齢や自分の楽しみに合わせ、自分のライフスタイルをより良いものにするために住居を選択しているなど感じました。

日本の地方では、少子化や高齢化の問題、そして空き家問題などの問題解決型の街づくりがよく重視されています。子育てしやすい街づくり、高齢者にも安心な街づくり、このようなビジョンを掲げる街の政策が多いと感じています。もちろん、これらの課題をどう解決していくかはとても重要なことです。それと同時に、その街づくりの最優先のターゲットは誰か、その街の産業的ビジョンは何か、その街の強みや弱みは何か、他の街との差別化はどう図るのか、など街を戦略的にかつロジカルに考えることがとても重要だと感じました。この戦略的な考えこそが持続的な街を実現するために最も重要だと考えます。

「Why→How→What」の順で考える。私が留学中最も身につけたスキルです。大学で Marketing をインプットして学び、インターンシップでアウトプットして実践的に知識を使う。このサイクルを繰り返せたことが私を大きく成長させたと感じています。これは、ビジネススキルだけでなく、英語のスキルなどすべてにおいて言えることだと思います。ぜひ、これから留学する学生さんには、何を学びたいのか留学中の目標を明確にし、その学びたいことの知識と知識を使った経験を留学中に繰り返して欲しいです。